

FinOpsとは、運用フレームワークおよび組織文化的なプラクティスであり、エンジニアリング、財務、ビジネスチーム間のコラボレーションを通じて、**テクノロジーのビジネス価値の最大化**、データに基づいたタイムリーな意思決定、財務上の説明責任を生み出すためのものである。

原則

- チームはお互いに協力する必要がある
- ビジネス価値に基づいて、テクノロジーに関する意思決定を行う
- すべての人が自分のテクノロジー利用に当事者意識を持つ
- FinOpsデータはアクセスしやすくタイムリーで正確であるべき
- 組織横断の専門チームが中心となりFinOpsを推進するべき
- クラウドの変動費モデルを活用する



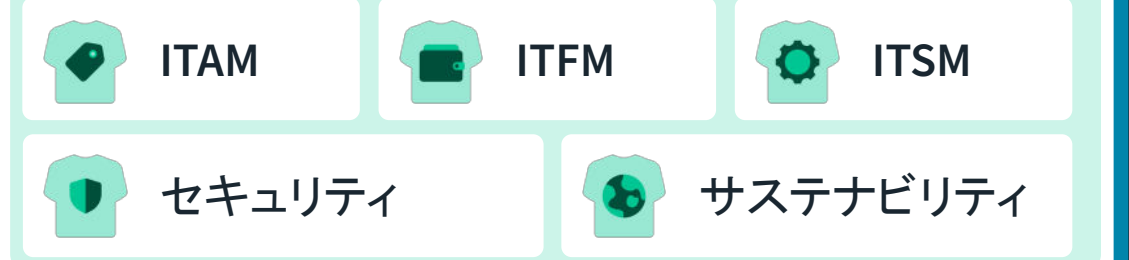
FinOpsスコープ は、**テクノロジーカテゴリ** 全体にわたる支出を、プロダクト、コストセンター、環境といったビジネス構造に紐付けて定義したセグメントであり、テクノロジーの価値を最大化するためにFinOpsの適用をガイドするものである。



コアペルソナは、FinOpsの実践に常に関与する。



関連ペルソナは、FinOpsの実践をサポートする。



ドメイン はFinOpsの実践で得られる成果をあらわしたものであり、**ケイパビリティ** はその成果を達成する方法を示したものである。

使用量とコストの理解	ビジネス価値の定量化	使用量とコストの最適化
データ取り込み	計画と見積もり	アーキテクチャ設計とワークロード配置
配賦	予測	使用量の最適化
レポートと分析	予算編成	料金の最適化
異常管理	KPIとベンチマーキング	ライセンスとSaaS
	ユニットエコノミクス	サステナビリティ

FinOpsプラクティスの管理

